

Linux 版起動 CD

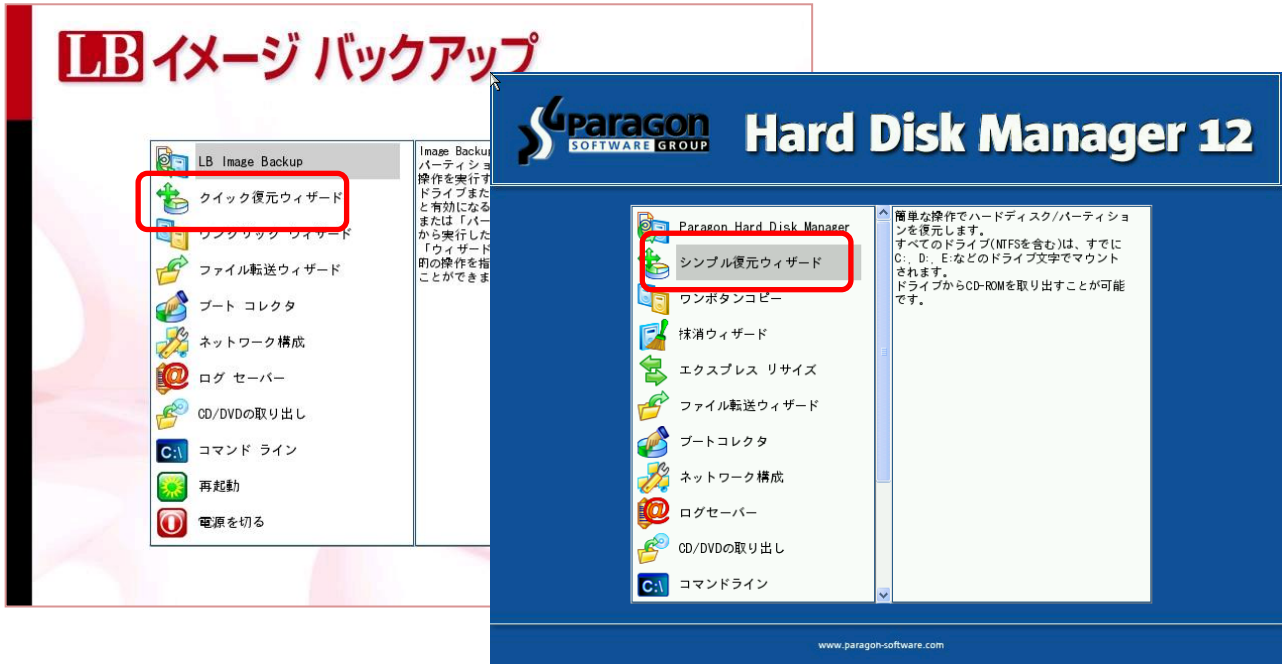
「バックアップ」「復元」操作ガイド

このガイドでは Linux 版起動 CD での「バックアップ」と「復元」方法をご案内します。

バックアップ先に「ネットワーク ドライブ」を使う時は、「ネットワークの構成」の設定を先に済ませて下さい。
(「ネットワーク構成」設定ガイドをご覧ください)

「コピー」については別の操作ガイドをご覧ください。

CD 起動してメイン画面を表示します。ソフトによって画面ロゴやメニュー名などが異なります。



LinuxCD 起動すると、以下のメインメニューが表示されます。

メイン画面メニュー解説	
製品名	操作画面を表示して、各種操作を行うことができます。詳細な操作を実施するときに使用します。
クイック復元ウィザード シンプル復元ウィザード	ウィザードを使用して「復元」操作をすばやく行います。
ワンクリック ウィザード ワンボタン コピー	ウィザードを使用してハードディスクを自動「コピー」します。
ファイル転送ウィザード	ハードディスク上の実データ、およびバックアップ イメージを展開してファイル単位で復元したデータを、HDD に書き出す事が出来ます。
ブート コレクタ	OS 起動時の問題を修復することができます。起動後に問題が発生した場合に利用します。実行するとツール内のヘルプが参照できます。
ネットワーク構成	ネットワーク ドライブにアクセスする場合には、このツールを使用して必要な設定を行います。
ログセーバ	ログを取得することができます。問題が発生した場合には、問題の報告と一緒に取得したログをサポートセンターまでお送りください。
CD/DVD の取り出し	CD/DVD を取り出すことができます。
再起動	コンピュータを再起動します。
電源を切る	コンピュータの電源を切ります。

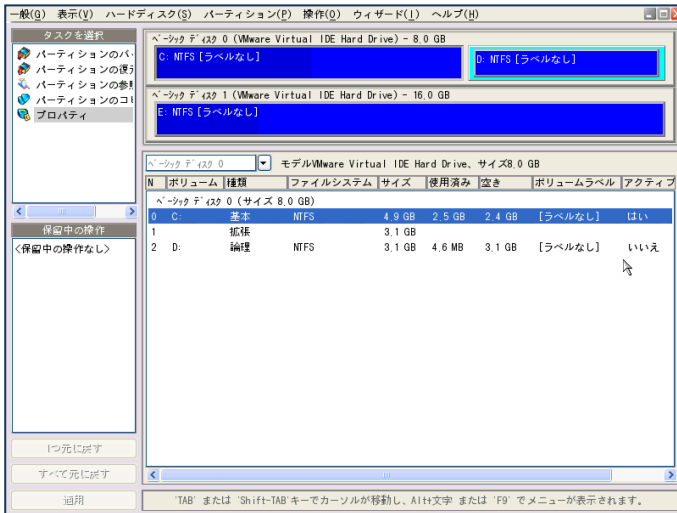
ソフトによって、機能メニューが増える事や、上記メニューが存在しない場合があります。

バックアップする

メイン画面から「製品名」を指定して「操作画面」に進みます。

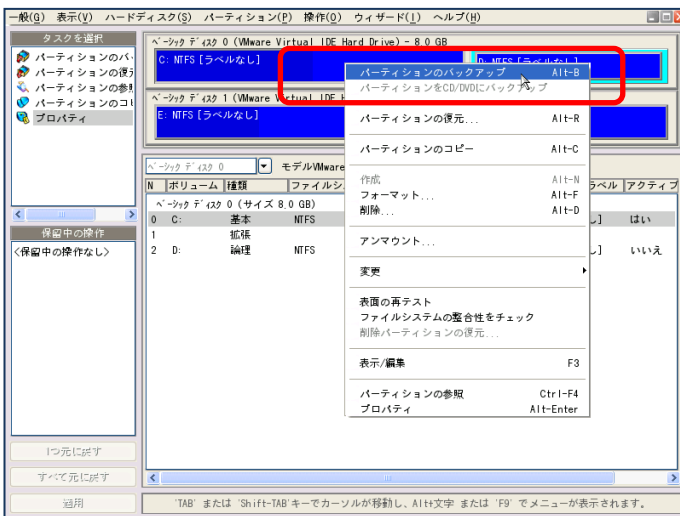
■どこをバックアップするか指定します

バックアップ先がハードディスクの場合




操作画面が起動します。接続されているハードディスク、パーティションが確認できます。

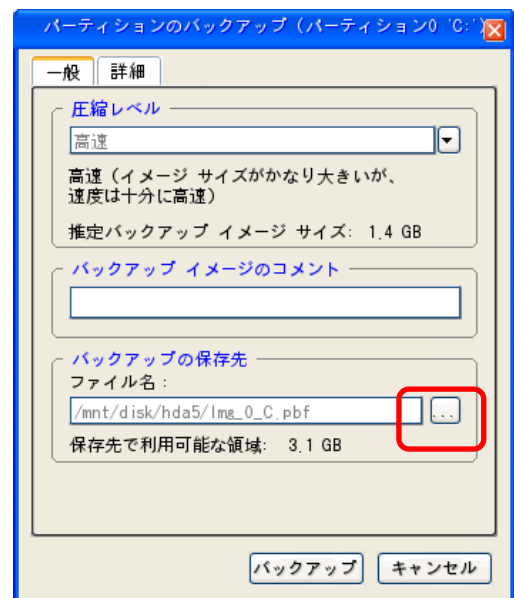
バックアップしたいパーティションを選択し、右クリックしてメニューから「パーティションのバックアップ」を選択します。

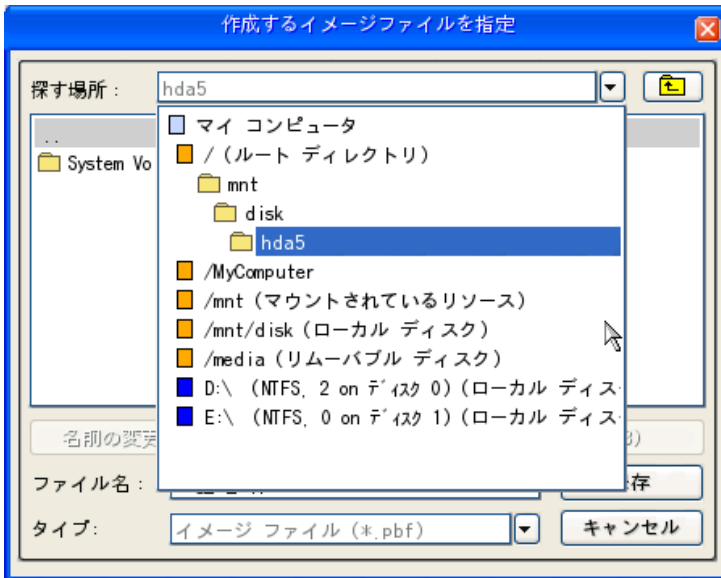


ハードディスクをバックアップしたい場合にはハードディスクを選択し、「ハードディスクのバックアップ」を選択してください。

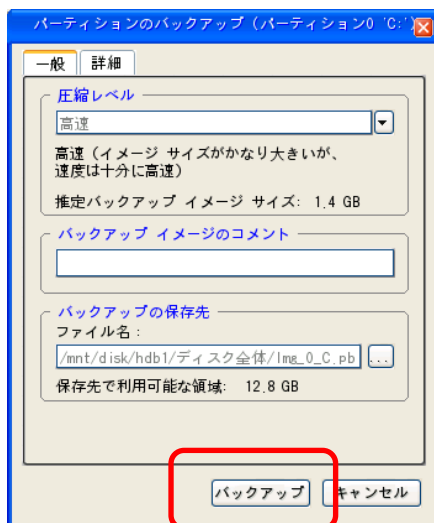
■バックアップ先を指定します

ダイアログが表示されます。バックアップ先を指定するために、「バックアップの保存先」の  参照ボタンをクリックします。

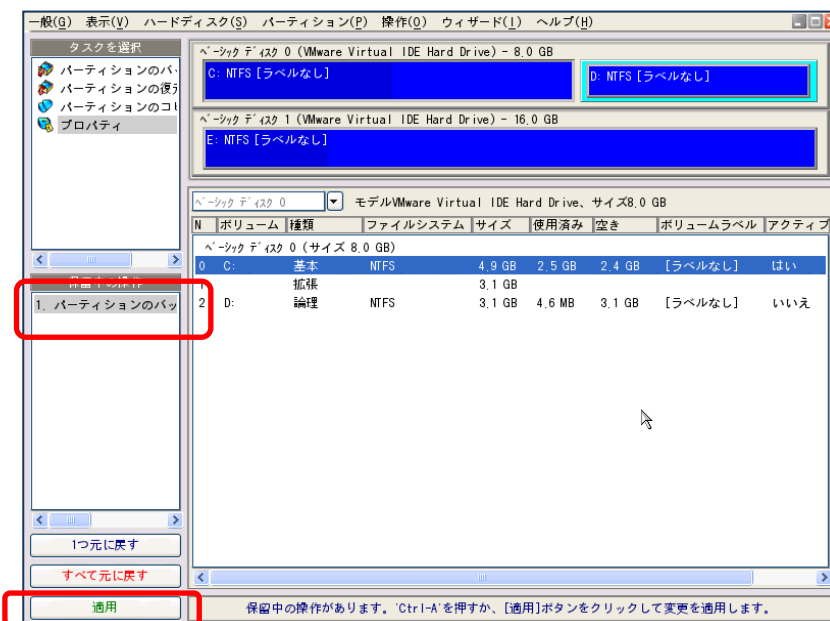




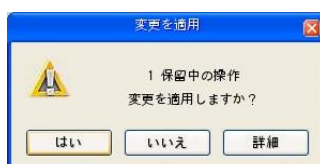
「ハードディスク」や「ネットワーク ドライブ」にバックアップする場合は、バックアップ先のドライブ、フォルダを選択し、[保存]をクリックします。



[バックアップ]ボタンをクリックします。このままではバックアップはすぐには実行されません。



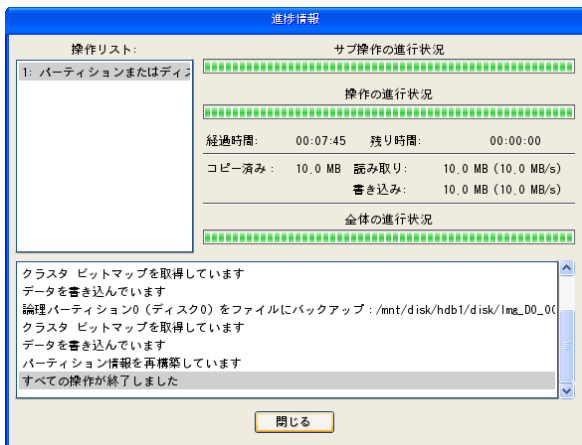
メイン画面に戻り、「保留中の操作」に設定した処理が追加されます。[適用]をクリックします。



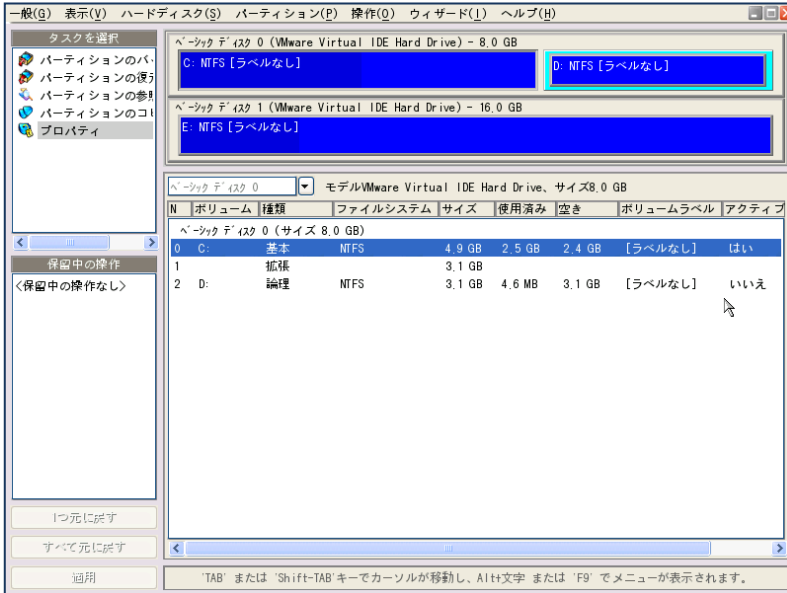
確認画面が表示されます。[はい]をクリックすると、バックアップが実行されます。



バックアップが開始され、処理の進行状況が表示されます。



すべての操作が終了したら、[閉じる]ボタンをクリックします。

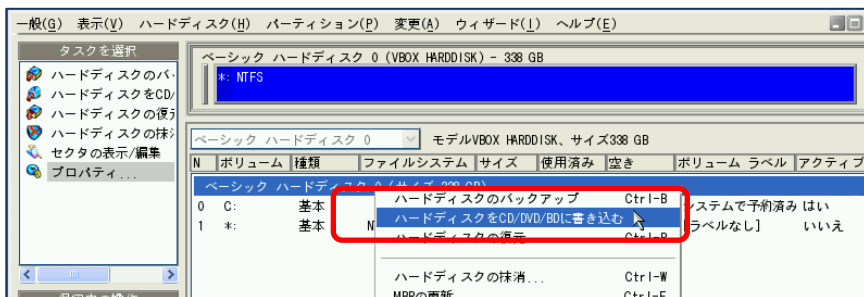


LB イメージ バックアップのメイン画面に戻ります。

以上で、バックアップ操作は完了です。右上の **×** をクリックして、LB イメージ バックアップを閉じます。

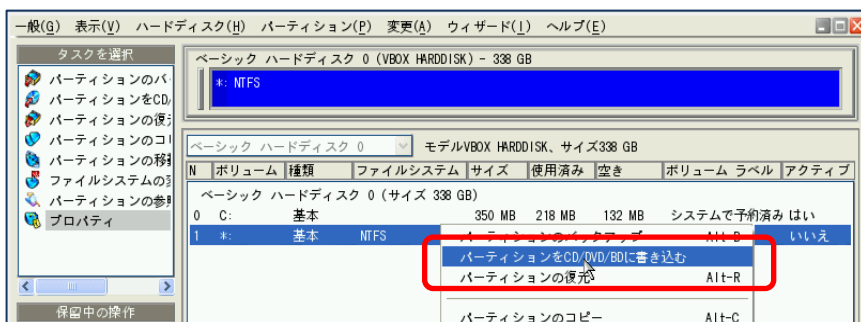
バックアップ先が CD/DVD の場合

ハードディスク全体のバックアップをしたい時



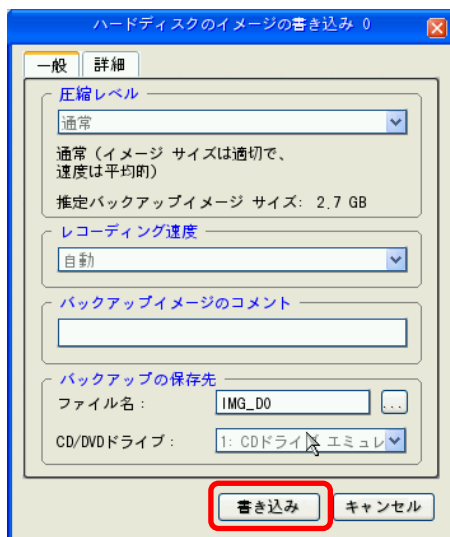
バックアップしたい「ハードディスク」を指定し、右クリックして[ハードディスクを CD/DVD に書き込む]でハードディスク全体のバックアップが可能です。

パーティション単位のバックアップをしたい時



バックアップしたい「パーティション」上で右クリックして[パーティションを CD/DVD に書き込む]でパーティション単位のバックアップが可能です。

※ ドライブ文字は Windows と一致しません。パーティションの配置とサイズでバックアップ対象のパーティションをご確認ください。



「書き込み」ボタンを押します。

元の画面に戻ったら「適用」ボタンを押します。

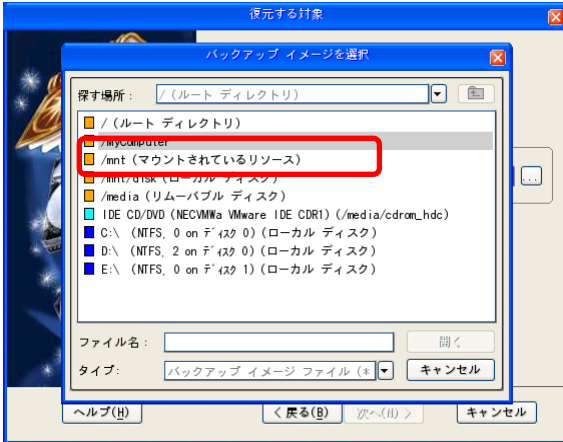
画面の指示に従い、複数枚のバックアップとなる時はディスクを入れ替えてください。

※ Linux 版で CD 起動して CD/DVD にバックアップした場合は、作成された CD/DVD から起動することはできません。復元時には Linux 版 CD で起動して[復元]を実行してください。

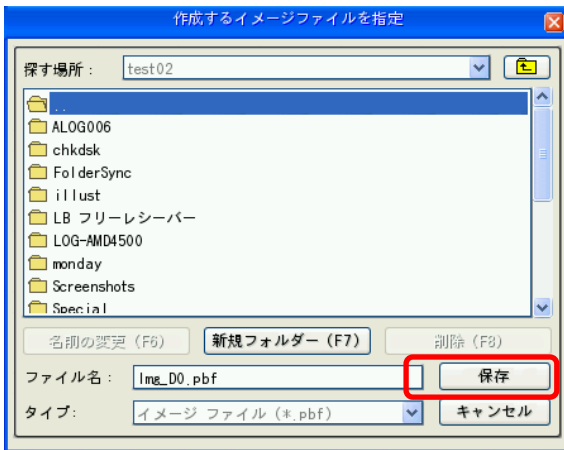
※ 複数枚のディスクにバックアップするときは、バックアップ単位によって、復元時に最初に読み込ませるディスクが異なります。バックアップ時に通し番号を付けて管理して下さい。

バックアップ先がネットワーク ドライブの場合

基本的な手順は『ハードディスクにバックアップする』と同じになりますが、バックアップを実行する前に『ネットワーク ドライブのマウント(割り当て)』を行っておく必要があります。設定方法は、別紙『ネットワークの構成の設定』を参考にしてください。

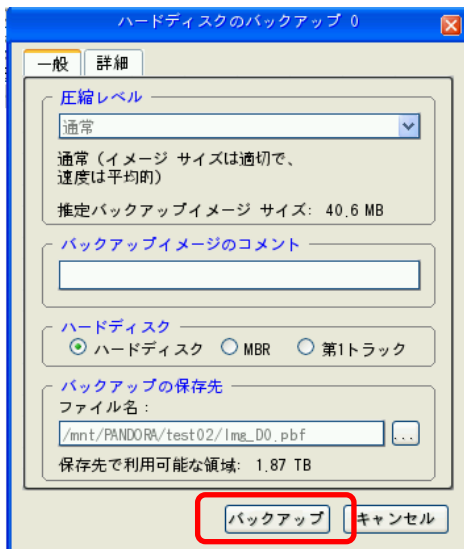


バックアップの保存先を指定する画面では、『/mnt (マウントされているリソース)』を選択します。



事前にマウントした(割り当てた)ドライブが表示されるので、ドライブ内のバックアップ先フォルダを指定し、ファイル名部分に半角英数字で名前を付けて「保存」ボタンを押します。

名前を付けなければ自動的に `Imgpdf` のファイルが作成されます。



保存先がネットワーク先のルートとなった事を確認して「バックアップ」ボタンを押します。

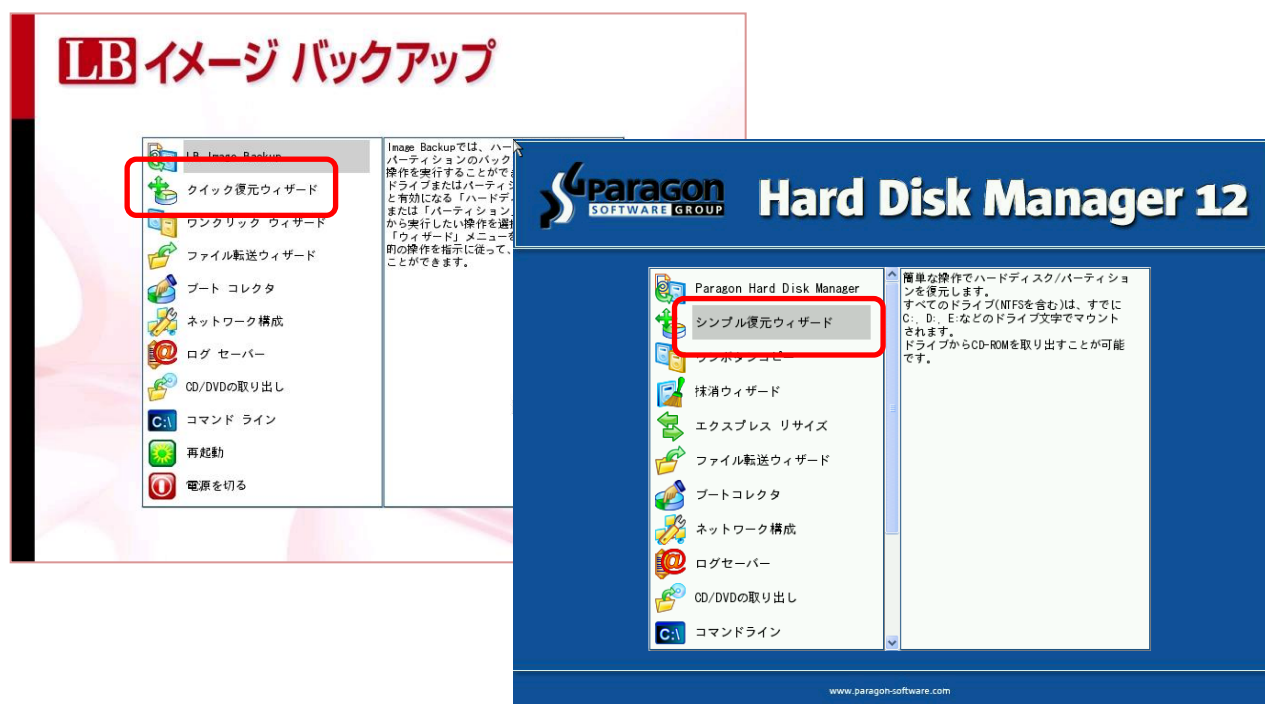
元の画面に戻ったら「適用」ボタンを押してバックアップを実行します。

復元する

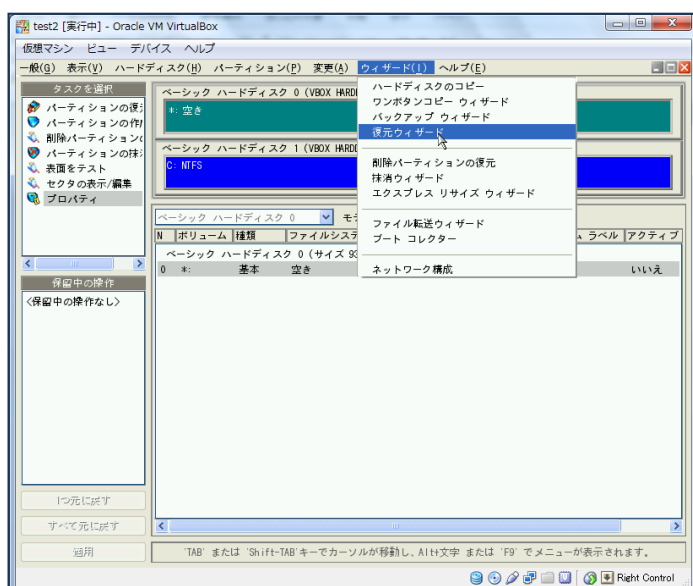
CD 起動してメイン画面を表示します。ソフトによってメニュー名が変わる事がございます。

※ネットワーク ドライブから復元を実行する場合は、起動直後に『ネットワーク ドライブのマウント(割り当て)』を行っておく必要があります。設定方法は、別紙『ネットワークの構成の設定』を参考にして下さい。

[クイック復元ウィザード]または[シンプル復元ウィザード]等をダブルクリックします



メイン画面の[復元ウィザード]ではウィザードを「完了」すると復元が自動的に実施されます。



メイン画面から[製品名]を指定して操作画面に進み、メニュー「ウィザード」から「復元ウィザード」でも復元可能です。

こちらから実施した時は、ウィザード「完了」後、「適用」ボタンを押して、復元を実行してください。


■どのイメージから復元するか、イメージを指定します

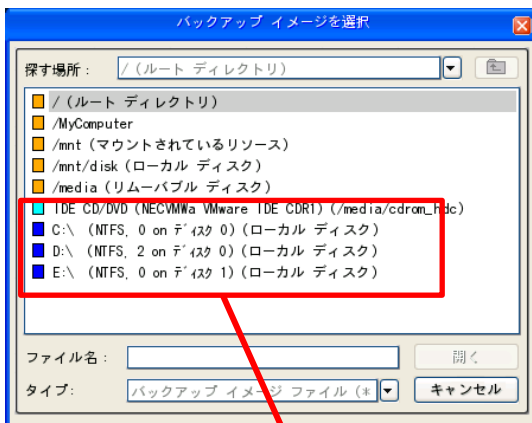
バックアップ先がハードディスクやネットワーク ドライブのとき



復元ウィザードが表示されたら、[次へ]をクリックします。

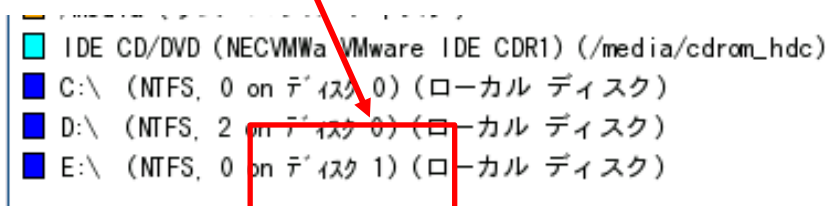


『復元する対象』画面の「イメージの選択」枠の右側の  参照ボタンをクリックします。



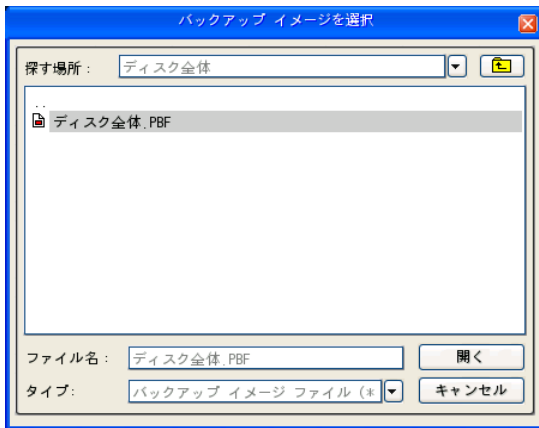
バックアップ イメージ ファイルが保存されているハードディスクとその中のフォルダを参照します。

※Windows 上とはドライブ文字(C:など)が異なる場合があります。



(NTFS, 0 on ディスク 0)
ディスク 0 が OS の存在するハードディスクを通常意味します。

バックアップ先が外付けハードディスクの時は、(NTFS, 0 on ディスク 1) が外付けハードディスクを意味します。こちらを選択して「開く」を押します。
ネットワークの場合は「マウントされているリソース」へ進みます。



ハードディスク内のデータが表示されますので、最終的にバックアップ イメージファイル
イメージ名.PBF
を選択し、[開く]をクリックします。

バックアップ先が CD/DVD のとき




復元ウィザードが表示されたら、Linux 版の起動 CD とバックアップ済みの CD/DVD 入れ替えます。

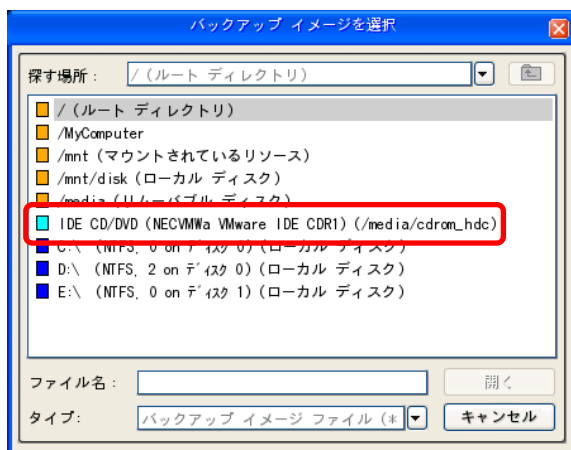
ハードディスク全体のバックアップ時

複数枚の CD/DVD に、ハードディスク全体をバックアップした時は、最終ディスクを入れます。

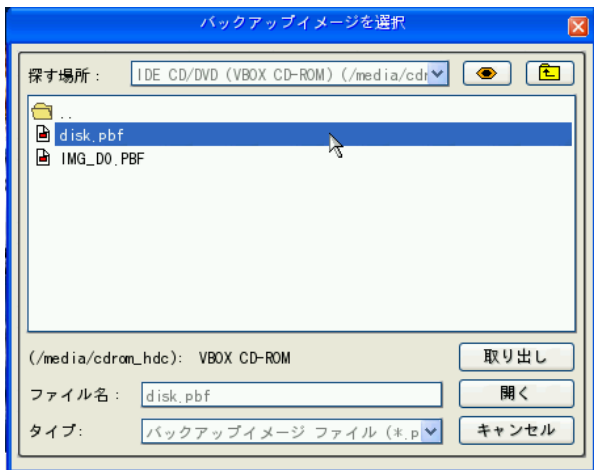
パーティションのバックアップ時

複数枚の CD/DVD に、パーティション単位をバックアップした時は、1 枚目のディスクを入れます。

『復元する対象』画面の「イメージの選択」枠の右側の  参照ボタンをクリックします。

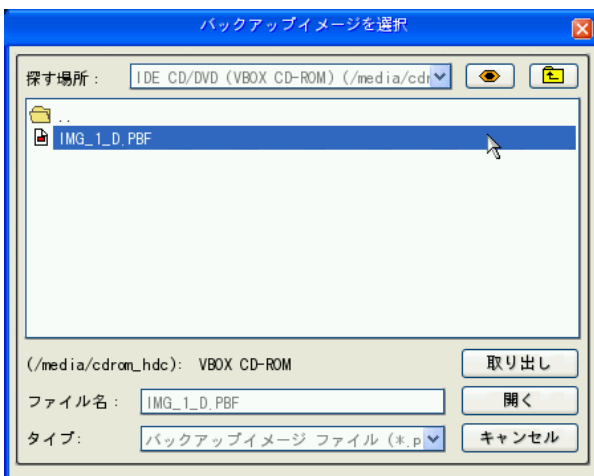


「探す場所」一覧の …CD/DVD… と記載されている行をダブルクリックします。



ハードディスク全体のバックアップ時

「disk.pbf」を指定し「開く」をクリックします。
複数枚の CD/DVD にバックアップした時は、復元開始後、画面の指示に従い、1 枚目に入れ替えて復元を進めます。



パーティションのバックアップ時

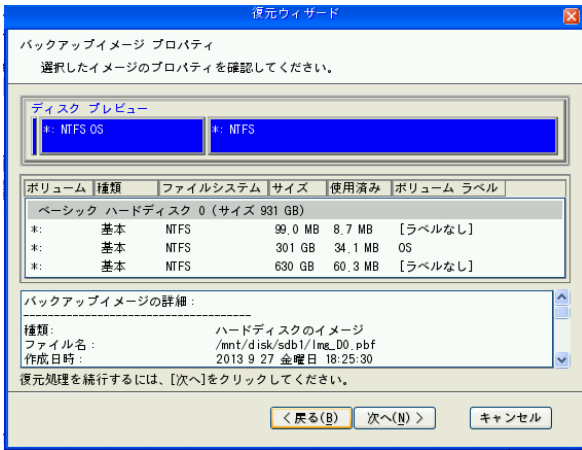
「IMG_…PBF」を指定して「開く」をクリックします。
複数枚の CD/DVD にバックアップした時は、復元開始後、画面の指示に従い入れ替えて復元を進めます。

■復元を実行します

イメージの指定後の「復元」手順



「イメージの選択」にイメージ名が記載されたら、
[次へ]をクリックします。

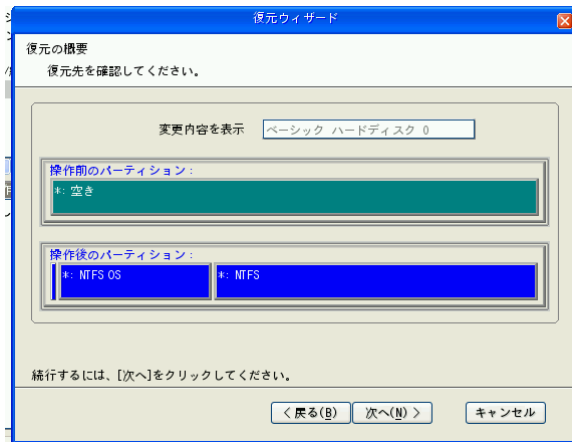


バックアップ イメージの内容が表示されます。内容を確認し、[次へ]をクリックします。



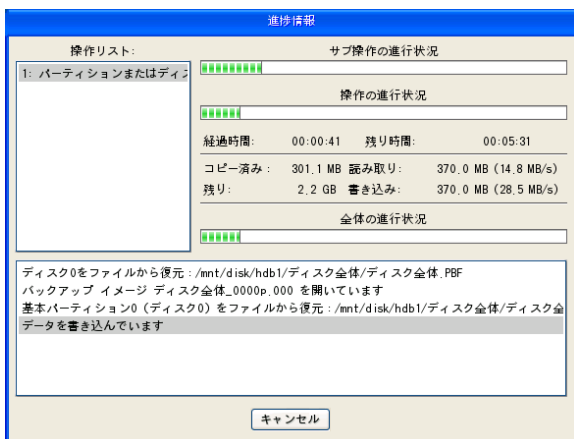
復元先を指定します。先ほど選択したバックアップイメージはハードディスク全体のバックアップ イメージになりますので、復元先のハードディスクを指定し、[次へ]をクリックします。

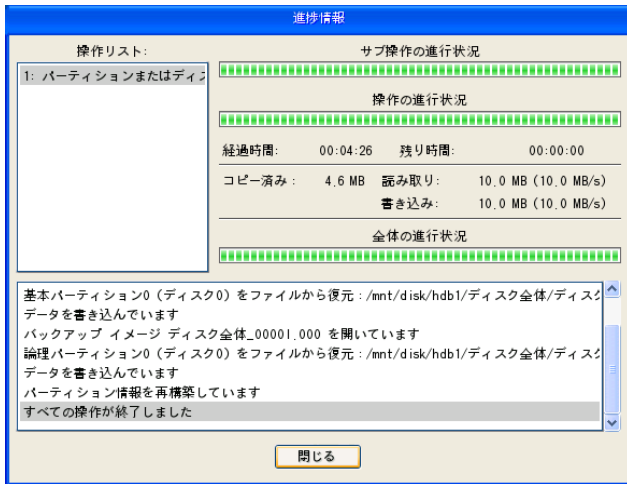
選択したハードディスクのすべてのデータが削除され、復元されますので、ご注意ください。



実行前と実行後のディスクの内容が確認できます。問題がなければ、[次へ]をクリックして復元を開始します。

操作画面内の「復元ウィザード」から実施した時はウィザード「完了」となりますので、「適用」ボタンを押してください。



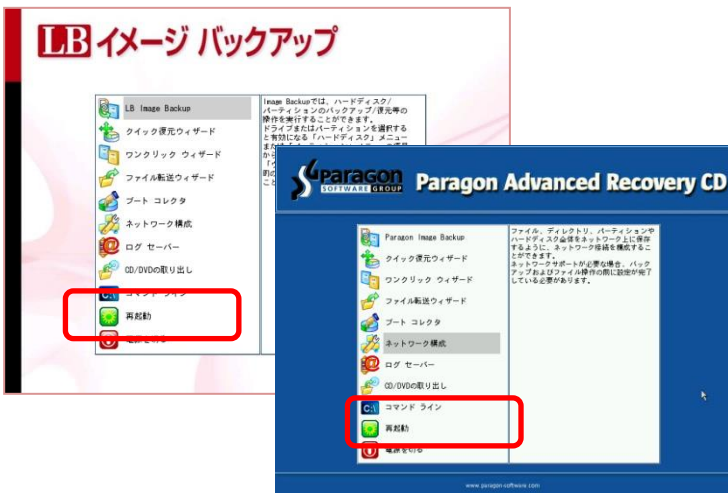


復元が開始され、操作の進行状況が表示されます。

完了したら、[閉じる]をクリックします。



[完了]をクリックし、ウィザードを終了させます。



メインメニューが表示されるので、ドライブから CD/DVD を取り出して、[再起動]をダブルクリックします。PC が再起動しますので、復元状況を確認します。